

令和7年度



# 園だより 5月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 ○もりもりそだつ げんきなからだ ○たいせつな なかまとじぶん ○かんじる こころとあたま

## 『子ども一人ひとりが 大切な存在』

園長 原 麻弓

入園・進級から1か月がたち、子どもたちの生活も落ち着いてきました。

それぞれの学級の生活に少しずつ慣れてきた子どもたちは、よく笑い、よく動き、時々泣いたり怒ったりしています。

慣れるということは、楽しく過ごすことではありませんね。保育室から一歩外に足を伸ばし園内探検するうさぎ組の子、どんな先生かな？とちよっといたずらしてみる子など、様々な姿を見せてくれています。そんな姿を園では丸ごと受け止めていきたいと思っています。慣れてきたからこそ、自分のありのままの気持ちを、精一杯の方法で表すことができるのだと感じています。子どもたちは、まだまだこれからたくさんの物事に会い、様々な感情を体験して育っていきます。その一つ一つの思いに寄り添っていくことができるといいですね。

さて、杉並区では令和7年4月から『杉並区子どもの権利に関する条例』を制定しました。以下条例の前文です。ぜひ保護者の方にご一読いただきたいと思います。

== 条例の前文 ==

子どもは、生まれながらにして、一人の人間として尊重される、かけがえのない存在です。

全ての子どもは、児童の権利に関する条約に定められた権利が保障されています。この子どもの権利は、何かと引き換えに保障されるものではありません。

子どもが、権利の主体として尊重され、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、この条例を制定します。

子どもたちの健やかな成長を支えるために、大人ができること、やらなければならないことを、今一度、真剣に考えていく時です。

子供園で、ご家庭で、どのようなことができるでしょうか。

子どもは、いいところをたくさん見付けてもらえると、もっともっと大きくなろうとします。「自分はこれでいいのだ！」と思うことができます。保護者の方も、子供園の職員も、子どもたちの“いいところ探し”の名人です！

保護者の皆様と子供園とで、お子さんのいいところを一緒に見付けていきましょう。

条例のリーフレットが園にあります。いつでも閲覧できますのでお声掛けください。

